

平成 2 5 年

南城市教育事務点検評価報告書

(平成 24 年度事業)

南城市教育委員会

目 次

議会への報告について	1
点検評価について	2
諮問文	3
答申書	6
1 教育委員会制度について	9
(1) 教育委員会議の状況	
(2) 教育委員の調査研究状況	
(3) 教育委員会組織及び職員配置状況	
(4) 財政状況	
(5) 教育委員会制度の点検評価	
2 事務事業について（評価）	16
学校教育の充実	
社会教育の充実	
情報化・国際化への対応	
体育・スポーツの振興	
文化財保存活用	
教育施設の整備充実	
教育委員会の活性化	

議会への報告について

平成19年6月27日に公布（平成20年4月1日施行）された地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条において、新たに教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果について議会に提出するとともに、広く公表することとされました。

南城市教育委員会では、同法に規定する教育事務の点検評価を実施するにあたり、教育に関し学識経験を有する者で構成する南城市教育事務点検評価委員会を設置しました。

平成25年8月30日付で、南城市教育事務点検評価委員会委員長に対し「平成24年度南城市の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」諮問を行いました。

南城市教育事務点検評価委員会においては、教育委員会制度の点検評価として1事務事業、平成24年度南城市教育主要施策に属する31事務事業について、各課から提出された資料の点検及び事業ごとのヒヤリング等を実施するなど、慎重かつ精力的な審議が行われました。

そして、平成25年11月8日付、南城市教育事務点検評価委員会委員長より答申を受けました。

本市教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価につきまして、諮問及び答申の内容を取りまとめ議会へ報告するものであります。

平成25年11月28日

南城市教育委員会
委員長 金城 サエ子

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

点検評価について

(1) 点検評価対象年度

平成24年度

(2) 点検評価の方法

点検評価については、教育委員会制度に加え、平成24年度教育主要施策である「家庭教育の充実」、「学校教育の充実」、「社会教育の充実」、「青少年健全育成」、「情報化・国際化への対応」、「市民性教育・アイデンティティーの確立」、「体育・スポーツの振興」、「文化財保存活用」、「教育施設の整備充実」、「教育委員会の活性化」の10分野から抽出された32事務事業を点検評価する。点検評価するにあたり、事業ごとの教育事務点検評価シートを作成し、達成度・成果・効率・妥当性を視点に評価を行った。さらに、教育事務点検評価業務実施本部による内部評価に加え、南城市教育事務点検評価委員会（付属機関）による外部評価を行った。

※総合評価基準

ランク	解 説
A	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。
B	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
C	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
D	成果が上がっておらず、抜本的改革が必要である。
E	成果が上がっておらず、要廃止検討の必要がある。

資 料

南教総第 472 号
平成25年8月30日

南城市教育事務点検評価委員会
委員長 呉 屋 善 永 殿

南城市教育委員会
教育委員長 金城 サエ子

平成24年度南城市の教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価について（諮問）

平成24年度南城市の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価
について、南城市教育事務点検評価委員会規則（平成21年教委規則第10号）第
2条の規定により諮問いたします。

諮問事項

平成24年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

諮問理由

平成19年6月27日に公布され、平成20年4月1日から施行された地方教育行
政の組織及び運営に関する法律第27条に基づき、教育委員会の事務の管理及び執
行の状況の点検、評価を実施することになったため。

諮問内容（平成24年度）

1. 教育委員会制度の点検評価項目
 - (1) 教育委員の研修、情報収集
2. 事務事業の点検評価
 - I 家庭教育の充実
 - II 学校教育の充実
 - (1) 学校給食事業（食育）
 - (2) 学校給食事業（徴収業務）
 - (3) 生徒指導・教育相談事業
 - (4) 外国青年招致事業（JETプログラム）
 - (5) 小学校外国語活動助手配置事業
 - (6) 稲作体験学習
 - (7) 幼稚園預かり保育事業
 - (8) 特別支援教育事業（ヘルパー、特別支援教育支援員）
 - (9) 南城市修学指導事業
 - (10) 学習意欲回復支援員配置事業
 - (11) 学校支援地域本部事業
 - III 社会教育の充実
 - (1) 中央公民館
 - (2) 図書館管理運営事業
 - IV 青少年健全育成
 - V 情報化・国際化への対応
 - (1) ESLキャンプ事業
 - (2) 海外短期留学事業
 - (3) 外国青年招致事業（JETプログラム）
 - (4) 小学校外国語活動助手配置事業
 - VI 市民性教育・アイデンティティの確立
 - VII 体育・スポーツの振興
 - (1) 社会体育施設管理運営事業
 - VIII 文化財保存活用
 - (1) 市内遺跡発掘調査事業
 - (2) 知念城趾保存修理事業
 - (3) 糸数城跡保存修理事業
 - (4) 玉城城跡保存修理事業
 - (5) 南城市史編集事業
 - (6) 島添大里城跡保存管理計画策定事業
 - (7) 世界遺産「斎場御嶽」周辺整備事業

IX 教育施設の整備充実

- (1) 学校施設の維持管理に関する事業
- (2) 小中学校学習教室空調設備整備事業
- (3) 佐敷小学校空調設備整備事業
- (4) 文教施設災害復旧事業
- (5) 久高教員宿舎整備事業
- (6) 共同調理場整備事業
- (7) 教員住宅事業

X 教育委員会の活性化

- (1) 教育委員の活動及び情報収集
- (2) 離島高校生修学支援事業

答申書

南城市の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検
及び評価について

平成 25年 11月 8日

南城市教育事務点検評価委員会

はじめに

南城市教育事務点検評価委員会は、平成25年8月30日付、南城市教育委員会委員長から「平成24年度南城市の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」諮問を受け、教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価を実施した。

本委員会では、南城市事務事業点検評価業務実施本部が①市民のニーズに沿った事業であるか、②先進的、独自性のある事業であるか、③事業効果があるか等の視点から検討して、全事業57事務事業の中から抽出した32事務事業の管理及び執行の状況について精力的に審議を重ねてきた。

審議に際しては、関係各課の作成した資料を基に、事業概要について担当課長から説明を受け、各委員による質疑等により事務の管理及び執行状況を把握した上で点検及び評価を行った。

教育委員会に於かれましては、この答申を基に教育に関する事務事業の適正管理及び執行に取り組んでいただきたい。

答 申

南城市の平成24年度教育に関する事務事業の管理及び執行の状況は、昨年度に続き、総じて良好に推移している。

教育委員会制度に関する1事業及び教育施策に関する31事業の総合評価をランク別にみると、評価Aが23、Bが7、Cが2、Dが0、Eが0となっている。

1. 教育委員会制度に関する事務事業については、教育委員会の責任体制の明確化や体制の充実が求められている。本市の教育委員活動は、会議の開催及び研修会等への参加による研鑽、学校や地域からの情報の収集・分析が精力的に取り組まれ、課題解決等に向けて迅速な対応がなされている。また、本市唯一の離島である久高島において、出前会議の開催や広聴会の開催は高く評価する。
2. 学校教育行政においては、預かり保育の充実により、子育て支援、幼児教育の振興に寄与すると共に、小中学校では、生徒指導、教育相談、特別支援教育等精力的に事業が取り組まれ、幼児・児童生徒の支援体制が整えられてきた。学校給食事業においては、学校給食費の収納率がまだまだ低いことから、早急に徴収体制を強化し、収納率アップに努めて貰いたい。

3. 社会教育行政の取り組みについては、公民館事業も年々充実して公民館講座等に多くの市民が参加し、生涯学習の推進に大きく貢献している。また、図書館管理運営事業については、市立図書館・県立図書館との相互貸し出しにより、貸し出し冊数が増加している。

今後は、電子書籍等も含め、中長期的な取組を検討し、利用者のニーズに応えられるように努めて貰いたい。

4. 国際化・情報化への対応については、英語特区の継続した取り組み、ALTの活用により小学校から外国語活動を行うことで、児童生徒の外国語活動に対する意欲・関心が高まった。また、海外短期留学やESLキャンプなどの事業により、英語や異文化に対する理解・興味・関心が深まり、児童生徒の自ら英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする意欲が高まった。

今後とも継続して取り組んで貰いたい。

5. スポーツ関連施策については、社会体育施設や学校体育施設の改修や器具の設置等もあり、市民の競技力向上や健康づくり等、多くの市民に利用されている。

今後は4地区に点在する社会体育施設の老朽化への対応や設備の充実に向けて、施設の統廃合も視野に総合的に検討するなど、スポーツの推進にも努めて貰いたい。

6. 文化財行政については、世界遺産や数多くの「グスク」が点在する本市において、新たに「島添大里城跡」や「佐敷城跡」が国の史跡として指定を受けるなど、発掘調査事業が精力的に取り組まれている。今後とも、貴重な文化遺産の保存修復及び活用に精力的に取り組んで貰いたい。

教育委員会制度に関する1事業及び教育施策に関する31事業、合計32事業の管理・執行状況についての点検・評価は別紙に記した。

南城市教育事務点検評価委員会

委員長	呉屋 善永
副委員長	中村 一男
委員	大城 武春
委員	宮城 道子
委員	阿嘉 慶子

1 教育委員会制度について

教育に関する事務を行う場合、政治的中立性と安定性の確保が強く要請されます。そのため、地方公共団体はその長から独立した行政機関として、教育委員会が設置されています。教育についての方針や施策は、教育委員の合議で決めています。南城市教育委員会は、5人の教育委員をもって組織している合議制の執行機関です。教育委員は、市長が議会の同意を得て任命する。委員の任期は4年です。

委員長は、委員の中から互選され、教育委員会の会議を主宰し、委員会を代表する。また、教育長は、委員の中から教育委員会が任命し、教育委員会の指揮監督の下に教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどり、事務局の事務を統括し、所属職員を指揮監督する。

教育委員（平成24年）

委員長	委員長職務代理者	委員	委員	委員（教育長）
金城 サエ子	銘苅 春俊	田場 晴美	新里 光子	高嶺 朝勇

(1) 教育委員会議の状況

平成24年教育委員会議開催数

	平成23年	平成24年
定例会	12	12
臨時会	4	4
合計	16	16

法律で義務付けられている月1回の定例会の他、喫緊の議案に対し迅速に対応するため、臨時会を必要に応じて開催した。また、定例会においても勉強会や各課業務報告等、その時々話題を審議するなど、活発に活動した。

(2) 教育委員の調査研究状況

教育委員は、課題施設等の視察、学校訪問、各種行事への参加等事務局からの教育行政情報の聴取、専門知識収集のための研修会等への参加、他市町村教育委員会の情報収集及び課題解決の方向性模索のため各教育機関等への訪問などを通して教育関係情報の収集に努めている。

平成24年度教育委員の活動

	日 付	内 容
1	4月2日	辞令交付式教職員辞令伝達式
2	4月10日	小・中学校入学式
3	4月11日	幼稚園入園式
4	4月11日	第5回教育委員会議（臨時会）
5	4月24日	南城市市民ギャラリーオープニングセレモニー
6	4月26日	第6回教育委員会議（定例会）
7	5月2日	平成24年度南城市交通安全推進協議会総会
8	5月10日	沖縄県市町村教育委員連合会定期総会並びに研修会（宮古島市）
9	5月11日	沖縄県市町村教育委員連合会定期総会並びに研修会（宮古島市）
10	5月23日	南城市青少年育成市民会議総会
11	5月25日	第7回教育委員会議（定例会）
12	5月27日	南城市学校公開日
13	5月30日	南城市チャレンジデー2012オープニングセレモニー
14	6月1日	学校訪問（大里北小）
15	6月5日	平成24年度学力向上推進協議会総会
16	6月5日	南城市育英会理事会
17	6月6日	学校訪問（佐敷小）
18	6月21日	学校訪問（知念中）
19	6月22日	南城市幼児、児童ヘルメット着用義務化宣言採択
20	6月24日	船越小学校校舎落成記念式典並びに祝賀会
21	6月26日	学校訪問（船越小）
22	6月27日	学校訪問（百名小）
23	6月27日	南城市少年の主張大会
24	6月17日	南城市誕生5周年記念写真展開会式典
25	6月28日	第8回教育委員会議（定例会）
26	6月29日	学校訪問（知念小）
27	7月2日	学校訪問（大里北幼）

	日 付	内 容
28	7月3日	学校訪問（知念・佐敷幼）
29	7月5日	学校訪問（佐敷中）
30	7月9日	学校訪問（大里中）
31	7月11日	学校訪問（馬天小）
32	7月19日	オスプレイ配備反対県民大会実行委員会議
33	7月19日	南城市を明るくする市民大会
34	7月22日	第7回南城市子どもまつり
35	7月26日	第9回教育委員会議（定例会）
36	7月31日	平成24年度島尻市町村教育委員会連合会理事会・総会
37	8月17日	第32回平成24年度国民体育大会九州ブロック大会
38	8月20日	第10回教育委員会議（定例会）
39	8月20日	広聴会（久高島）
40	8月23日	第5回南城市中生フォーラム
41	8月23日	第11回教育委員会議（臨時会）
42	9月8日	海外短期留学及びESLキャンプ合同報告会
43	9月9日	第17回ふるさと伝統芸能まつり
44	9月28日	第12回教育委員会議（定例会）
45	10月1日	沖縄県市町村教育委員研修会
46	10月7日	市内小学校運動会
47	10月13日	第2回南城市まつり
48	10月21日	大里南幼稚園運動会
49	10月28日	大里中学校スポレク大会
50	10月29日	第13回教育委員会議定例会
51	10月31日	島尻市町村教育委員会連合会役員会
52	11月7日	第14回教育委員会議（臨時会）
53	11月16日	第2回南城市社会福祉大会
54	11月17日	琉歌表彰式及び文化講演会
55	11月18日	南っ子まつり
56	11月18日	食育シンポジウム
57	11月20日	島尻市町村教育委員会連合会研修会及び臨時総会
58	11月21日	環境教育の日取り組み参観
59	11月22日	第15回教育委員会議（定例会）

	日 付	内 容
60	11月28日	先進地視察研修会報告会
61	11月29日	第2回島尻市町村教育委員会連合会役員会
62	11月30日	教育講演会
63	12月3日	南城市朝の一斉交通安全運動
64	12月4日	南城市祝賀会実行委員会
65	12月5日	大里中学校校長講話
66	12月9日	「子どもの深夜はいかい防止運動」出発式
67	12月11日	食育推進事業研究実践報告会
68	12月25日	第16回教育委員会議（定例会）
69	12月26日	家庭教育講演会
70	1月13日	南城市成人式
71	1月20日	島添の丘 第29回新春もちつき大会・バザー
72	1月22日	第1回教育委員会議（定例会）
73	1月23日	秋田県大仙市「三浦憲一教育長」講演会
74	1月27日	学芸会
75	1月29日	南城市交通安全祈願式
76	2月1日	南城市叙勲受賞祝賀会
77	2月3日	佐敷小学校創立記念式典
78	2月4日	第2回教育委員会議（臨時会）
79	2月7日	市町村教育委員会教育委員・教育長研修会
80	2月9日	南城市島くとうばお話大会
81	2月16日	島尻地区学力推進実践報告会
82	2月20日	学対実践発表会及び授業参観
83	2月22日	第3回教育委員会議（臨時会）
84	2月26日	第4回教育委員会議（定例会）
85	2月26日	社会教育委員より答申
86	2月28日	地域福祉活動実践報告会
87	3月5日	平成25年度職員人事についての意見交換
88	3月7日	学習ボランティア交流会
89	3月10日	市内中学校卒業式
90	3月19日	市内幼稚園卒園式
91	3月21日	市内小学校卒業式

	日 付	内 容
92	3月22日	「島添の丘」壮行激励会
93	3月26日	第5回教育委員会議（定例会）
94	3月29日	平成24年度退職辞令交付式

(3) 教育委員会組織及び職員配置一覧（平成24年4月現在）

組 織		人 員	
事務局	教育部 計37 (15)	部 長	1
		教 育 総 務 課	6 (4)
		教 育 指 導 課	14 (5)
		教 育 施 設 課	7 (1)
		文 化 課	9 (5)
教育機関 計35 (134)		幼稚園 (8園)	18 (24)
		小学校 (9校)	1 (40)
		中学校 (5校)	4 (21)
		公民館 (2館)	1 (4)
		図書館 (4館)	1 (6)
		社会体育施設(14施設)	0 (15)
		給食センター(3センター)	10 (24)

※ () 内は臨時・嘱託職員数

(4) 財政状況

平成24年度の南城市の一般会計歳出決算は、18,585,577千円で、対前年度比385,317千円(2.1%)増となっている。

そのうち教育予算は、2,028,372千円で、対前年度決算と比べて437,631千円(17.7%)の減で、一般会計に占める比率は、10.9%となっている。

平成24年度教育費歳出決算状況

● 歳出

(単位：千円)

項目	H24年度	H23年度	比較	増減率	構成比
教育総務費	385,841	398,098	△12,257	△3.1%	19.0%
小学校費	267,935	737,587	△469,652	△63.7%	13.2%
中学校費	176,946	187,027	△10,081	△5.4%	8.7%
幼稚園費	228,047	177,846	50,201	28.2%	11.2%
社会教育費	412,809	386,659	26,150	6.8%	20.4%
保健体育費	104,159	186,147	△81,988	△44.0%	5.1%
学校給食費	452,635	392,639	59,996	15.3%	22.3%
合計	2,028,372	2,466,003	△437,631	△17.7%	100.0%

(5) 教育委員会制度の点検報告

事業名 (担当課)	事業概要	評価 区分	総合 評価	評価の説明
教育委員の 活動及び情 報収集状況 (教育総務 課)	地方教育行政の組織及び 運営に関する法律で設置 等について規定されてお り、本市の教育行政につ いて、より効果的な教育 行政を展開するために情 報収集に努め具体的な施 策の実施、向上を図る。	内部 評価	A	地教行法の改正以来、教育委員会の責任体制の明確化や体制の充実などが叫ばれ、多くの研修会、各種行事への参加等により、委員の活動は更に活性化し、迅速適正な課題解決に向けた情報収集がなされ所期の目的が達成された。
		外部 評価	A	多くの研修会や各種行事への参加により適切な情報収集がなされ、委員の活動が更に活性化した。特に久高島における出前会議の開催は評価したい。このような積極的な活動が今後の迅速な課題解決に結びつくと思われる。

2 事務事業について

II 学校教育の充実

事業名 (担当課)	事業概要	評価 区分	総合 評価	評価の説明
生徒指導・ 教育相談事 業 (教育指導 課)	①児童生徒一人一人が、 心身ともに安定し、充実 した学校生活を送れるよ うにする。 ②不登校児童生徒の支援 と新たに不登校児童生徒 が生じないための相談活 動。 ③校内生徒指導体制の強 化と小中連携及び学校と 関係機関との連携	内部 評価	A	①校内の生徒指導・教育相談体制ができており、生 指導委員会等を定期的実施することで校内の共通 した実践に努めている。 ②生徒指導主任・教育相談担当者等連絡会で、情報 交換会や協議をすることにより、小中学校間及び学 校と家庭・関係機関との連携を強化した。
		外部 評価	A	多様な施策が実践されたことにより、問題行動や 不登校児童生徒が減少したことは高く評価する。今 後とも、学校と家庭、関係機関との連携を強化し、 問題行動や不登校児童生徒のゼロを目指して頑張っ て貰いたい。
外国青年招 致事業 (JETプロ グラム) (教育指導 課)	国際理解教育の充実 と、英語教育の充実に資 する。	内部 評価	A	・英語研究開発及び英語特区の取組を継続し、本市 小学校外国語活動の発展、充実に貢献した。また、 中学校でもALTを効果的に活用した授業展開を図 ることができた。 ・市内教職員の英語に対する意識の高揚が図られ た。
		外部 評価	A	ALTの効果的な活用により、南城市の英語教育 の充実、教職員の英語に対する意識の高揚が図られ たことは大いに評価できる。今後とも更なる活性化 に向けた工夫を願いたい。
小学校外国 語活動助手 配置事業 (教育指導 課)	国際理解教育の充実 と、英語活動の充実に資 する。	内部 評価	A	文科省指定の英語研究開発や英語特区の取組を継 続し、充実した小学校外国語活動を行うことができ た。また、児童の外国語活動に対する意欲・関心が 高まった。
		外部 評価	A	文科省指定の英語研究開発や英語特区の取組を継 続し、小学校における外国語活動を行うことによ り、児童の外国語活動に対する意欲・関心が高まっ たことは高く評価する。今後は、小学校教諭の校内 研修等にALTを活用して、英語指導力の更なる向 上に取り組んで貰いたい。

事業名 (担当課)	事業概要	評価 区分	総合 評価	評価の説明
稲作体験学習 (教育指導課)	総合学習や小学校5年社会科「米作り」の単元の学習のため、受水・走水の近くにある体験農場(水田)を利用して、稲作体験を提供し稲作に興味を持ち、理解を深める機会とする。	内部評価	B	南城市内小学校5年生において、受水走水での稲作体験が当初の計画のとおり実施できた。
		外部評価	B	実際に田植え・稲刈り・脱穀をした米で料理をするなど、機会の少ない農作業(稲作)をみんなで体験し、収穫の喜びを味わう学習ができたことは評価する。今後は、稲の一連の成長過程の学習が出来るよう、授業時数等の確保及び方法等更なる検討が必要である。
幼稚園預かり保育 (教育指導課)	家庭や保護者の要望に応えた子育て支援に努める為、預かり保育を実施する。	内部評価	A	全ての園で預かり保育を実施し、子育て支援、幼児教育の振興に寄与した。
		外部評価	A	全ての園で預かり保育を実施し、子育て支援、幼児教育の振興に寄与した事は、大いに評価できる。今後とも預かり保育の更なる充実と待機児童の解消に努めて貰いたい。
特別支援教育事業(ヘルパー、特別支援教育支援員) (教育指導課)	心身障害児・軽度発達障害等にかかる児童・生徒への身辺介助、学習支援を充実させる。	内部評価	B	年度途中のヘルパー要請への対応や、特別支援学級の開設ができなかった場合の対応を検討する必要がある。また、ヘルパーの資質向上と学校全体での支援体制の充実を図ることが重要である。
		外部評価	B	年々学校現場からの要請が増える中、人材確保に努め支援したことで、対象児童生徒に変容が見られたことは大いに評価できる。今後は、学校の校内支援体制の機能化を図り、人材確保及び資質向上に努め、その他の生徒への学習の影響も考慮に入れた特別支援教育に努めて貰いたい。
南城市就学指導事業 (教育指導課)	心身障害児・軽度発達障害等にかかる児童・生徒への身辺介助、学習支援を充実させる。	内部評価	A	特別な支援を必要とする児童生徒への諸検査、審議が行われた結果、適正な就学判定が出され、ニーズに対応した支援環境のもとで教育を行うことができた。しかし、課題として保護者の意見により就学判定とは違う支援環境での教育を受ける場合がある。
		外部評価	A	特別な支援を必要とする児童生徒が、適正な就学判定のもと、ニーズに対応した支援環境のもとで教育が行われたことは、高く評価できる。今後は、保護者に対して就学判定の意義を正しく理解して貰うよう努め、支援環境の充実に取り組んで貰いたい。

事業名 (担当課)	事業概要	評価 区分	総合 評価	評価の説明
学習意欲回復支援員配置事業 (教育指導課)	一斉指導による学習についていけない児童・生徒への教科支援として習熟度別の学習形態や個別課題としての反復練習・反復訓練や実物の教材・教具による学習、パソコン学習の取り入れにより学習意欲の回復を図る。	内部評価	A	学習支援が必要な生徒や学級集団になじまない生徒等へ個に応じた指導を行い、学習意欲の喚起を図ることができた。
		外部評価	A	学習支援が必要な生徒や学級集団になじまない生徒等へ個に応じた指導を行い、学習意欲の喚起を図ることができたことは高く評価できる。支援活動を充実させることにより、生徒指導にも大きな成果を得ることが出来ることから、支援員の創意工夫に期待したい。
学校支援地域本部事業 (教育指導課)	地域ぐるみで学校の教育活動を支援する体制を整備し、子どもたちの育成と学校の活性化に向けた環境づくりと「学校支援ボランティア活動」の実践を目指す。	内部評価	B	市内4地区にボランティア組織が立ち上がった。前年度を上回る述べ4,000人以上のボランティアが参加し確実に活動は広がってきている。しかしながら、地域、学校により活動に差があることや、学校の希望する人数を確保できないこともある。
		外部評価	B	市内4地区に教育活動を支援するボランティア組織が立ち上がった事は素晴らしいことであり、大いに評価できる。今後は、ボランティア組織と学校の調整を図りつつ、運用面等の課題解決に向けて取り組んで貰いたい。
学校給食事業 (教育総務課)	学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に資することと、学校における食育の推進を図る。	内部評価	A	・安全でおいしい給食の提供、食に関する教育は概ね達成できた。また地産地消を取り入れた給食を毎月1回、食育の日に使用実施している。 ・各センター施設の老朽化があり、維持管理に年々経費の増加がある。 本務調理職員の減少により臨時調理員が多く、職員の資質の向上に努めなければならない。
		外部評価	A	安心安全な給食の提供、学校における食に関する教育、毎月1回食育の日に南城産野菜を取り入れた献立を実施していることは評価したい。今後は、給食施設の整備計画とともに、給食調理員等の資質の向上に尚一層、努めて貰いたい。

事業名 (担当課)	事業概要	評価 区分	総合 評価	評価の説明
学校給食事業(徴収業務) (教育総務課)	幼稚園児、児童・生徒に、学校給食を安定的にかつ安全でおいしい給食を継続して提供するために、円滑な運営を行う。	内部評価	C	H24年度給食費の収納状況は、未納者・滞納者に対しては、市委託コールセンターと併せて電話や訪問徴収、申出による児童手当からの差引(H24年10月支給分から)を実施し、収納率は95.05%で、H23年度の93.35%に対して1.7ポイント改善された。
		外部評価	C	収納率の対前年度比1.7ポイントアップさせたことは評価したい。しかしながら、学校給食費の滞納問題は、学校給食事業を根底から揺るがすものであることから、嘱託徴収員等の配置を含めた、職員体制の強化により、更なる収納率アップに努めて貰いたい。

Ⅲ 社会教育の充実

事業名 (担当課)	事業概要	評価 区分	総合 評価	評価の説明
中央公民館 (教育指導課)	市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。	内部評価	A	公民館講座は、ほとんどの講座で募集定員を超える応募があり盛況であった。参加者からのアンケート結果も好意的な意見が多く、満足している様子が伺えた。施設提供については、利用する団体がいない時間があるため、施設の活用方法を検討する必要がある。
		外部評価	A	各種公民館講座等が、市民に理解され盛況であることは大いに評価できる。今後は、新たな学習プログラムを開発するなど、市民ニーズに対応した公民館講座の開設と、施設の有効活用に取り組んで貰いたい。
図書館管理運営事業 (教育指導課)	市民の文化・教養・調査等を支える施設として、利用者ニーズに応えるため図書資料等の整備・充実を図り情報の提供に努めることにより、生涯学習関連施設としての機能維持と利用を促進する。	内部評価	B	老朽化が進み、建設を計画していた知念図書館が平成25年10月完成予定である。電子書籍の普及が進んできている昨今、図書館においても電子書籍の取り扱いを検討する必要がある。しかし、図書館勤務の職員がすべて臨時職員となっており中長期的な取組については難しい。
		外部評価	B	知念図書館の改築は大いに評価できる。今後は中長期的な図書館運営のあり方を検討するとともに、旧町村時代に発刊した資料の電子化と本務職員配置について取り組んで貰いたい。

V 情報化・国際化への対応

事業名 (担当課)	事業概要	評価 区分	総合 評価	評価の説明
ESLキャンプ事業 (教育指導課)	英語によるコミュニケーション能力向上と国際感覚を養い、明確な自己表現能力を培い、国際性豊かな人材育成並びに国際社会に適応する能力、資質の向上を図る。	内部評価	A	子どもたちに本場の英語と接する機会を与えることができ、英語教育に対する貢献度は大きい。
		外部評価	A	経済的な事情で短期留学に行けない生徒にも、英語に対する興味関心や国際感覚を身につける機会を与えるという意味で大いに評価できる。また、英語に慣れる上でも長期宿泊による学習効果は大きいものと期待する。今後ともより多くの児童生徒が参加しやすくなるよう、事業の継続拡大に努めて貰いたい。
海外短期留学事業 (教育指導課)	英語によるコミュニケーション能力向上と国際感覚を養い、明確な自己表現能力を培い、国際性豊かな人材育成並びに国際社会に適応する能力、資質の向上を図る。	内部評価	A	1市5村で実行委員会を組織して派遣事業を実施しており、協賛企業からの寄付等もあり充実した事業運営ができた。今後、長期的に事業を継続実施するには、運営資金の確保、運営方法等について更なる検討が必要である。
		外部評価	A	海外短期留学事業は、現地の環境の中で直接肌で感じて学習できる貴重な体験であり、英語や異文化に対する理解・興味・関心が高まったことは高く評価する。今後とも事業の継続的な実施を切望する。

VII 体育・スポーツの振興

事業名 (担当課)	事業概要	評価 区分	総合 評価	評価の説明
社会体育施設管理運営事業 (教育総務課)	社会体育施設（都市公園含む12施設）の維持管理及び生涯スポーツを推進し、市民の健康維持、体力増進を図り健康で明るいまちづくりに資する。	内部評価	C	市民の健康づくり、競技力向上に施設の利用はあるものの、時期や施設によって利用に偏りがみられる。また、施設及び設備の老朽化が進み、故障等で利用者に迷惑をかけている部分がある。施設の維持管理について、totoの助成金を活用してランニングマシンの導入や一括交付金を活用して陸上競技場の芝管理用機械を購入することができたことは評価できる。
		外部評価	C	現在の施設状況においては、施設の借用の仕方や備品の充実などはtotoの助成金や一括交付金の活用などある程度評価できる。今後は、施設の老朽化への対応、施設の統廃合、また、市民の健康作りの場としての施設のあり方等、関係課と調整しながら、中長期的な視点で施設整備計画を進めて貰いたい。

VIII 文化財保存活用

事業名 (担当課)	事業概要	評価 区分	総合 評価	評価の説明
市内遺跡発 掘調査事業 (文化課)	文化財が適正に保護・ 保存され、後世に伝えら れることを目的とする (個人住宅建設等に係る 遺跡の調査・記録・保存 等)。	内部 評価	B	・国指定史跡の今後の整備のための基礎資料を得る ため、着実に事業を実施できた。また、開発等に伴 う遺跡の確認・保存も成果を上げた。 ・調査に多くの時間を要し、担当は日常的な超過勤 務を余儀なくされた。
		外部 評価	B	国指定史跡の整備のための基礎資料の整理や開発 等に伴う遺跡の確認・保存が出来たことは評価した い。今後とも、確実な遺跡の確認・保存に取り組ん で貰いたい。
知念城跡保 存修理事業 (文化課)	知念城跡の保存と活用 を図る。	内部 評価	A	事業の妥当性が高く、事業の効果や成果なども順 調なので、計画どおりに推進する。
		外部 評価	A	計画通りに事業が進んでいることは評価できる。 今後は修復の進捗状況に合わせた活用計画を立て、 小中学生をはじめ市民に公開する機会を増やし、文 化財愛護の精神につなげて貰いたい。
糸数城跡保 存修理事業 (文化課)	糸数城跡の保存と活用 を図る。	内部 評価	A	年次計画どおり修復工事ができている。
		外部 評価	A	本事業は長期的な事業であり、単年度毎に着実に 事業が実施できたことは大いに評価できる。今後と も、国県と調整を図り、貴重な文化遺産の保存修理 及び活用に取り組んで貰いたい。
玉城城跡保 存修理事業 (文化課)	玉城城跡の保存と活用 を図る。	内部 評価	A	・年次計画どおり修復工事ができている。
		外部 評価	A	年次計画通り修復作業が進捗したことにより、地 域の小中学生に生きた教材として活用されたことは 評価する。今後とも、貴重な文化遺産の保存活用 に向け、国県と調整を図り進めて貰いたい。

事業名 (担当課)	事業概要	評価 区分	総合 評価	評価の説明
南城市史編 集事業 (文化課)	地域の歴史や文化を記録して後世に継承し、市民が地域の歴史・文化に関心を持ち、理解を深めることを目的とする。	内部評価	B	・発刊した「市史・総合版」は高い評価を得ている。 ・「御嶽・グスク編」は調査に膨大な時間を要し、発刊が遅れている。
		外部評価	B	市史編集事業は、これまでに発刊した「市史・総合版」は好評で、南城市内外の多くの方々に関心を持っている事業である。今後、各編の発刊計画について再度検討し、「御嶽・グスク編」の発刊に向けて万難を排し取り組んで貰いたい。
島添大里城 跡保存管理 計画策定事 業 (文化課)	島添大里城跡の適切な保存管理に資するよう、整備事業の基本的な事項を構築する。	内部評価	A	計画どおりに事業が進んでいる。
		外部評価	A	島添大里城跡の保存管理に資するよう、地元の代表者を含めた保存管理計画策定委員会を設置し、事業を進めたことは評価したい。今後とも、年次的に整備計画を進めていくと同時に、城跡周辺を歴史的風致地区として整備する価値がないかどうか検討して貰いたい。
世界遺産 「斎場御 嶽」周辺整 備事業 (文化課)	斎場御嶽に隣接し、琉球王国時代はみそぎの場として崇められていた「ウローカー」周辺や久手堅の神道(かみみち)などを整備し、文化財保護や観光振興に資する。	内部評価	A	当初の計画どおりに事業が進んでいる。
		外部評価	A	整備事業が着実に実施でき、斎場御嶽に関連する歴史的環境・背景がさらに明確になったことは高く評価できる。 今後は、「ウローカー」や「神道(カミミチ)」等、周辺整備事業に期待すると共に、「祈りの場」と「観光地」との折り合いをどうするか検討する必要がある。

IX 教育施設の整備充実

事業名 (担当課)	事業概要	評価 区分	総合 評価	評価の説明
教員住宅事業 (教育総務課)	本市における学校教育振興のため、久高島の学校に就任する教職員等の居住施設として、教員住宅を設置する。	内部評価	A	新設住宅への入居及び人事異動に伴う入替もスムーズに行うことができた。今後とも計画どおりに事業推進していきたい。
		外部評価	A	久高小中学校に勤務する教職員等の居住施設が整備され、入居もスムーズに行えたことは評価したい。今後は、施設の使用管理について、教職員自らが自主的に管理することを期待したい。
学校施設の維持管理に関する事業 (教育施設課)	市立幼稚園、小学校、中学校の施設を常に良好な状態に維持する。	内部評価	B	老朽化した建物や設備の修繕に時間と経費を要するものも多く、学校からのすべての要望をすぐには解決できない。漏水等、急を要する場合は早急に対応している。H22年度よりシルバー人材センターに委託し修繕は年間計画の中で効率化を図っている。
		外部評価	B	児童生徒の安全安心を第一に、シルバー人材を活用し迅速に教育環境の整備に努めていることは評価できる。今後は学校現場に対して、施設設備の点検、及び正しい使い方の指導に努め、維持管理を徹底して、長寿命化に努めて貰いたい。
小中学校学習教室空調設備整備事業 (教育施設課)	夏場においても、学校施設的环境を、安全・快適な状態に保つ。	内部評価	A	家庭科教室の夏場の教育環境の改善が図られた。
		外部評価	A	知念中学校の家庭科教室の空調設備が計画的に整備されたことは大いに評価できる。今後も計画的に、安全で快適な学習環境の整備に取り組んで貰いたい。
佐敷小学校空調設備整備事業 (教育施設課)	普通教室及び特別教室にクーラーを設置し、教育環境を改善し授業中児童の集中力を高めることを目的とする。	内部評価	A	平成24年度に工事が完成し、25年度から供用を開始。夏場の教育環境の改善が図られた。
		外部評価	A	佐敷小学校の普通教室及び特別教室の空調設備が計画的に整備されたことは大いに評価できる。今後とも、計画的に市内の各幼小中学校の空調設備の設置等、更なる快適な学習環境を確保することに努めて貰いたい。

事業名 (担当課)	事業概要	評価 区分	総合 評価	評価の説明
文教施設災害復旧費 (教育施設課)	平成24年9月28、29日の台風第17号の暴風により、市内の学校教育施設1校が被害を受けた。知念中学校の屋内体育館等、屋根及び空調設備(3基)である。生徒の安全確保はもちろん二次災害を防止するため早急な復旧工事が必要である。	内部評価	A	災害復旧事業により、安全で安心して学べる教育環境が図られた。
		外部評価	A	台風等による自然災害の復旧が迅速に対応されたことは評価できる。今後とも、安全・安心な教育環境の確保に取り組んで貰いたい。
久高教員宿舎整備事業 (教育施設課)	老朽化が著しく、耐震性について危険な状況にあるため、早急な整備が必要である。	内部評価	A	改築により施設の耐震化、維持管理費の低減、教職員の住環境の改善が図られた。
		外部評価	A	久高小中学校に勤務する教職員が、安心して快適に教育活動に打ち込めるよう、教員宿舎を改築整備したことは大いに評価できる。
共同調理場整備事業 (教育施設課)	佐敷知念学校給食センターは、老朽化が著しく耐震性について危険な状況にある。また食の安全性についても市内3ヶ所の給食センターは「学校給食衛生管理基準」を満たしていない状況にあるため、3施設を統合する事により、建物の耐震化、維持管理費の縮減、食の安全を確保する。	内部評価	A	基本・実施設計に着手することができ、事業は計画通り進捗している。施設は平成26年度内完成、平成27年度供用開始を予定。
		外部評価	A	共同調理場整備事業が平成27年度供用開始に向けて、計画通り進捗していることは大いに評価できる。今後とも、学校給食事業の安全性確保に向けて取り組んで貰いたい。

X 教育委員会の活性化

事業名 (担当課)	事業概要	評価 区分	総合 評価	評価の説明
離島高校生 修学支援事 業 (教育総務 課)	離島高校生修学支援費補助金を学校教育法に定める高等学校、特別支援学校高等部、高等専門学校に在学する久高島出身の生徒の通学に要する交通費及び居住費の一部を生徒の保護者に対して交付する。	内部 評価	A	年度途中に施行された制度だが、遅滞なく規則の整備を行い、該当者に漏れなく周知することができ、交付できた。
		外部 評価	A	年度途中に施行された制度にもかかわらず、久高中学校を卒業し、高等学校に就学する生徒の保護者に、離島高校生就学支援補助金を交付することができたことは高く評価できる。今後も同事業の周知に向け努力して貰いたい。

